

## WWW対応美術系支援画像データベースの構築

酒井 順一 澤野 貴 高橋 俊二 常澤 邦幸 羽生田 浩教 伊奥田 光宏

2M-6

千葉工业大学

### 1. はじめに

近年普及したWWWはインターネット上での情報網である。個人から企業など、さまざまな団体が公開している情報は、世界中のWWWサーバが発信しており、ユーザは自由に情報収集が出来る。

美術系研究分野においても、WWWを利用することで画像をはじめとする情報を入手することができ、非常に重要な情報資源となっている。

本研究ではWWW上で画像検索を行い、画像の閲覧、検討可能な美術系支援画像データベースを構築する。

### 2. システム提案

画像情報は、美術館及び書籍により取得可能ではあるが必要な情報を探すことは手間がかかる。文字情報のみから画像イメージを類推することも困難である。そこでデータベースを利用し検索機能の利用により容易に情報の取得、比較、検討を可能化する。

WWWを用いることにより、複数の利用者が同一システムを利用でき、また遠隔地からの使用が可能となる。さらに、時間的な制限もなく使用できる。

本研究ではWWWサーバに置かれた複数の画像情報に対し、さまざまな方向からの検索を可能とするデータベースシステムを提案する。概念図を図1に示す。

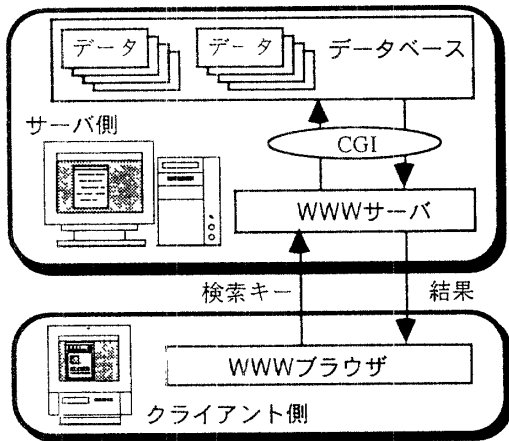
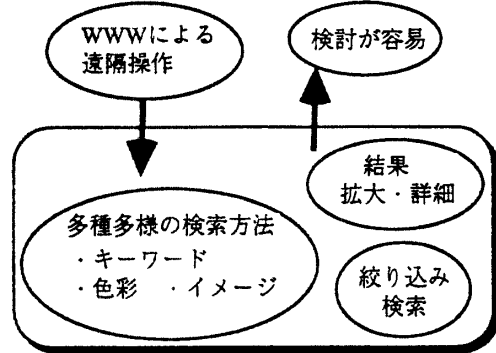


図1 システム概念図

入力された検索キーはサーバでCGIによりデータベースへ渡される。検索結果は再びCGIにより送られ、クライアントのブラウザに表示される。

### 3. 特徴

本システムの特徴を以下に示す。



### 4. 実行例

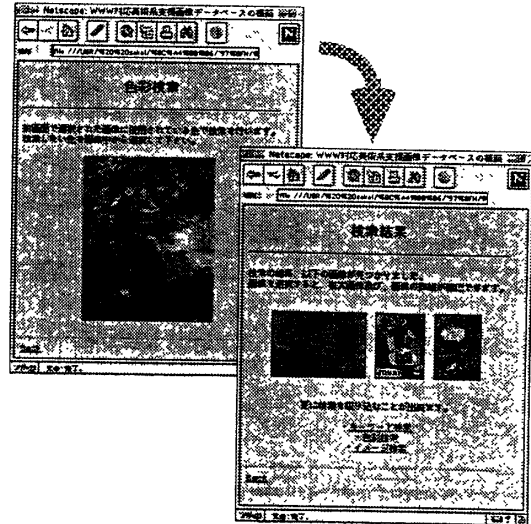


図2 実行画面例

上に示したのは色彩検索及び結果画面例である。ユーザは、検索したい色を画像の中から選び、クリック（クリックابلマップによるリンク）する。結果として該当する作品の縮小画像が表示される。

また、縮小画像をクリックすることで、拡大画像及び詳細を見ることが出来る。さらに結果の中から条件を変えて絞り込み検索をかけることも可能である。

### 5. おわりに

本研究では、美術系支援のためのデータベースをWWW上で実現することにより、遠隔地からの画像検索を実現した。

検索面では、複数の検索方法、絞り込み検索を可能とした。今後さらに数多くの検索方法を追加することでより良いデータベースになることと考えられる。